



## 令和8年度 学校経営の基本方針

- 1 教育目標 進んで学び 豊かな心で やりぬく子
- 2 目指す子ども像 みとめあい かかわりあい たかめあう子
- 3 目指す姿
  - ・自他ともに認め合い豊かな人権感覚を育む子
  - ・聞き合い伝え合い自分の学びを創る子
  - ・声を掛け合いながら健康を目指す子
- 4 重点目標
  - ・関わりを大切にし、違いを認め、よりよく生活をしようとする子どもを育てる。
  - ・「読む力」を中核に、互いに考えを深めながら主体的に学ぶ子どもを育てる。
  - ・仲間とともに運動し、規則正しい生活を送ろうとする子どもを育てる。
- 5 スローガン(目指す学校) 「一人一人が主人公」
- 6 R8年度 keyword 「かかわり」
- 7 R8年度キャッチフレーズ 「たくましい子どもの育成 2年次 『Version Change』」
- 8 R8年度の重点

### ○一人一人を大切にする

- ・個性を尊重し、丁寧な児童理解に努め、一人一人に寄り添った指導・支援に努める。
- ・居場所、安心感のある「あたたかな学級・学校づくり(p4cの実施)」に努める。
- ・子どもたちにとって「安全安心な学校」を実現するため「未然防止」に努める。

### ○「かかわり」を大切にする

- ・子ども同士、子どもと教師、教師同士、教師と地域、地域と子どもなど、関係性を考えた取組を進める。
- ・特認校の特色、学校規模を生かした教育活動の推進に努める。
- ・ホームページの活用など、特色ある教育活動について積極的な情報発信に努める。

### ○子どもたちの未来を大切にする

- ・付けるべき力(方向)を見据えた指導・支援・定着に努める。
- ・自己効力感、エージェンシー、レジリエンス、ウェルビーイングの育成・向上に努める。
- ・12年間(幼保小中学校の連携)を見通した社会性の育成に努める。

### ○教職員一人一人も主人公

- ・児童、保護者、地域との信頼関係の構築に努め、良好な関係の中で豊かな教育実践を進める。
- ・栃小チームの一員としての自覚(何ができるか、非違行為根絶)をもち、学び続ける。
- ・よりよい環境(教室、言語など)づくりを進め、互いに居心地のよい学校づくりに努める。
- ・「報告・相談・連絡」を通して、互いに助け合う学校づくりに努める。